

住友ゴム工業 中南米初の生産拠点 ブラジル工場の開所式を挙



ブラジル工場正面



記者会見で挨拶する、池田社長

住友ゴム工業は、10月3日に、中南米における同社グループ初のタイヤ工場である、Sumitomo Rubber do Brasil Ltda.(SRB)の開所式を、同工場敷地内で実施した。開所式には、パラナ州知事、ファゼンダ・リオ・グランデ市長をはじめとする現地州・市関係者、在クリチバ日本国総領事が出席し、同社からは、池田育嗣代表取締役社長、の小田一平 Sumitomo Rubber do Brasil Ltda. 社長が出席した。日本メディアをはじめ、開所式への参加者は、総勢約460名にも上った。

開所式で、池田社長は「住友ゴムグループにとって、ブラジル工場から中南米市場にタイヤを供給していく事が成長のエンジンとなり、またそれがブラジルやパラナ州の経済発展に寄与できるものと確信している」と挨拶をした。

< ブラジル工場の概要 >

会社名 : Sumitomo Rubber do Brasil Ltda.
代表者名 : 小田一平
所在地 : パラナ州ファゼンダ・リオ・グランデ市
設立 : 2011年7月
事業内容 : 自動車用ラジアルタイヤの製造・販売
総投資額 : 7億5千万レアル(約353億円※)
資本金 : 6億レアル(約282億円※ 2013年9月時点)
資本構成 : 住友ゴム工業(株) 100%
生産開始 : 2013年10月
生産能力 : 15,000本/日(2015年末)
敷地面積 : 約50万平方メートル